

妙法蓮華經。安樂行品。第十四

爾時文殊師利法王子。菩薩摩訶薩。白佛言。世尊。是諸菩薩。甚為難有。

敬順佛故。發大誓願。於後惡世。護持讀誦。說是法華經。世尊。菩

薩摩訶薩。於後惡世。云何能說是經。佛告文殊師利。若菩薩摩訶薩。

於後惡世。欲說是經。當安住四法。一者安住菩薩行處。親近處。

能為衆生。演說是經。文殊師利。云何名菩薩摩訶薩行處。若菩薩

摩訶薩。住忍辱地。柔和善順。而不卒暴。心亦不驚。又復於法。無所

行。而觀諸法如實相。亦不行不分別。是名菩薩摩訶薩行處。云何

名菩薩摩訶薩親近處。菩薩摩訶薩。不親近。國王王子。大臣官長。不親

近。諸外道。梵志。尼犍子等。及造世俗文筆。讚詠外書。及路伽耶陀。

逆路伽耶陀者。亦不親近。諸有凶戲。相掬相撲。及那羅等。種種變現之  
 戲。又不親近。旃陀羅。及畜豬羊鷄狗。畋獵漁捕。諸惡律儀。如是人等。  
 或時來者。則為說法。無所悵望。又不親近。求聲聞。比丘比丘尼。優婆塞。  
 優婆夷。亦不問訊。若於房中。若經行處。若在講堂中。不共住止。  
 或時來者。隨宜說法。無所悵求。文殊師利。又菩薩摩訶薩。不應於女人身。  
 取能生欲想相。而為說法。亦不樂見。若入佗家。不與小女。處女  
 寡女等共語。亦復不近。五種不男之人。以為親厚。不獨入佗家。若有  
 因緣。須獨入時。但一心念佛。若為女人說法。不露齒笑。不現智臆。  
 乃至為法。猶不親厚。況復餘事。不樂畜。年小弟子。沙彌小兒。  
 亦不樂與同師。常好坐禪。在於閑處。修攝其心。文殊師利。是名

初親近處。復次菩薩摩訶薩。觀一切法空。如實相。不顛倒不動。不退不轉。  
 如虛空。無所有性。一切語言道斷。不生不出不起。無名無相。實無所  
 有。無量無邊。無礙無障。但以因緣有。從顛倒生故說。常樂觀。  
 如是法相。是名菩薩摩訶薩。第二親近處。爾時世尊。欲重宣此義。  
 而說偈言

若有菩薩於後惡世無怖畏心欲說此經  
 應入行處及親近處常離國王及國王子  
 大臣官長凶險戲者及旃陀羅外道梵志  
 亦不親近增上慢人貪著小乘三藏學者  
 破戒比丘名字羅漢及比丘尼好戲笑者

深著じんぢやく五欲ごよく求現滅度ぐげんめつど諸優婆夷しやうばい皆勿親近がいもつしんこん  
若にやく是人等ぜいにんとう以好心いこうしん來到菩薩所らいとうぼさつしよ爲聞佛道いもんぶつどう  
菩薩ぼさつ則そく以無所畏心むしよいしん不懷希望ふえいけいもう而爲說法にいせつぽう  
寡女かによ處女じよによ及諸不男ぎつしよふなん皆勿親近かिमощしんこん以爲親厚いしんこう  
亦莫親近やくまくしんこん屠兒魁膾とりにけいえい毘獵漁捕でんりやうごふい爲利殺害いりせつがい  
販肉ほんにく自活じいかつ街賣女けんまいによしき如是之人にやぜしにん皆勿親近がいもつしんこん  
凶險くけん相撲そうぼく種種嬉戲しゆじゆきけい諸婬女等しよいんにやとう盡勿親近じんもつしんこん  
莫獨屏處まくどくびやうじよ爲女說法いによせつぽう若說法時にやくせつぽうじ無得戲笑むとくけいしやう  
入里乞食にゆうりこつじき將一比丘しやういちびく若無比丘にやくむびく一心念佛いっしんねんぶつ  
是則名爲ぜそくみやうい行處近處ぎやうしよこんしよ以此二處いしにしよ能安樂說のうあんらくせつ

又復不行 上中下法 有爲無爲 實不實法  
亦不分別 是男是女 不得諸法 不知不見  
是則名爲 菩薩行處 一切諸法 空無所有  
無有常住 亦無起滅 是名智者 所親近處  
顛倒分別 諸法有無 是實非實 是生非生  
在於閑處 修攝其心 安住不動 如須彌山  
觀一切法 皆無所有 猶如虛空 無有堅固  
不生不出 不動不退 常住一相 是名近處  
若有比丘 於我滅後 入是行處 及親近處  
說斯經時 無有怯弱 菩薩有時 入於靜室

以正憶念隨義觀法從禪定起為諸國王

王子臣民婆羅門等開化演暢說斯經典

其心安穩無有怯弱文殊師利是名菩薩

安住初法能於後世說法華經

又文殊師利。如來滅後。於末法中。欲說是經。應住安樂行。若口宣說。

若讀經時。不樂說人及經典過。亦不輕慢。諸餘法師。不說他人。

好惡長短。於聲聞人。亦不稱名。說其過惡。亦不稱名。讚歎其美。

又亦不生怨嫌之心。善修如是。安樂心故。諸有聽者。不逆其意。有

所難問。不以小乘法答。但以大乘。而為解說。令得一切種智。爾時世

尊。欲重宣此義。而說偈言

菩薩常樂 安穩說法 於清淨地 而施牀座  
以油塗身 澡浴塵穢 著新淨衣 內外俱淨  
安處法座 隨問爲說 若有比丘 及比丘尼  
諸優婆塞 及優婆夷 國王王子 群臣士民  
以微妙義 和顏爲說 若有難問 隨義而答  
因緣譬諭 敷演分別 以是方便 皆使發心  
漸漸增益 入於佛道 除懶惰意 及懈怠想  
離諸憂惱 慈心說法 晝夜常說 無上道教  
以諸因緣 無量譬諭 開示衆生 咸令歡喜  
衣服臥具 飲食醫藥 而於其中 無所悒望

たんに一心念セツ 説法ほう 因縁いんねん 願成がんじょう 佛道ぶつどう 令衆りょうしゆ 亦爾やくに

是則大利ぜいそくだいり 安樂あんらく 供養くうよう 我滅がめつ 度後どご 若有にやく 比丘びく

能演のうえん 説斯ゼツシ 妙法みょうほう 華經けききやう 心無しんむ 嫉恚ししち 諸惱しよのう 障礙しやうがい

亦無やくむ 憂愁うしゆう 及罵ぎゆうめ 詈者りしや 又無うむ 怖畏ふい 加刀かとう 杖等じやうとう

亦無やくむ 擯出ひんずい 安住あんじゆう 忍故にんこ 智者ちしや 如是によぜ 善修ぜんしゆ 其心ごしん

能住のうじゆう 安樂あんらく 如我にやが 上説じやうせつ 其人ごにん 功德くどく 千萬せんまん 億劫いっくわう

算數さんじゆ 譬諭ひいゆ 説不能セツぶ 盡のうじん

又文殊うもんじゆ 師利しり 菩薩ぼさつ 摩訶まか 訶薩かさつ 於後おご 末世まつせ 法欲ほうよく 滅時めつじ 受持じゆじ 讀誦どくじゆ 斯經しき 典者でんしや

無懷むえい 嫉妬ししと 諂誑てんかう 之心ししん 亦勿やくもつ 輕罵ききやうめ 學佛がくぶつ 道者だうしや 求其ぐご 長短ちやうたん 若比にやく 丘比(びく)(びく) 丘尼に

優婆うぱ 塞優そくう 婆夷ばい 求聲ぐしやう 聞者もんしや 求辟ぐびやく 支佛しふつ 者しや 求菩ぐぼ 薩道さつだう 者しや 無得むてく 惱之のうじ 令じやう



其疑悔。語其人言。汝等去道甚遠。終不能得。一切種智。所以者何。

汝是放逸之人。於道懈怠故。又亦不應。戲論諸法。有所諍競。當於

一切衆生。起大悲想。於諸如來。起慈父想。於諸菩薩。起大師想。於

十方諸大菩薩。常應深心。恭敬禮拜。於一切衆生。平等說法。以

順法故。不多不少。乃至深愛法者。亦不爲多說。文殊師利。是菩薩摩訶

薩。於後末世。法欲滅時。有成就。是第三安樂行者。說是法時。無能惱亂。

得好同學。共讀誦是經。亦得大衆。而來聽受。聽已能持。持已能誦。

誦已能說。說已能書。若使人書。供養經卷。恭敬尊重讚歎。爾時世尊。

欲重宣此義。而說偈言

若欲說是經 當捨嫉恚慢 諂誑邪僞心 常修質直行

ふーきようめつとーにん やくふーけー るんぼう ふーりようたーぎーけー うんによふーとくぶつ  
 不輕蔑於人亦不戲論法不令佗疑悔云汝不得佛  
 ぜーぶつしーせつぼう じようにゆうわーのうにん じーひーおーいっさい ふーしようけーだいしん  
 是佛子說法常柔和能忍慈悲於一切不生懈怠心  
 じっぼうだいぼーさつ みんしゆこーぎようどう おうしようくーぎようしん ぜーそくがーだいしー  
 十方大菩薩愍衆故行道應生恭敬心是則我大師  
 おーしょぶつせーそん しょうむーじようぶーそん はーおーきようまんしん せつぼうむーしようげー  
 於諸佛世尊生無上父想破於憍慢心說法無障礙  
 だいさんぼうによぜー ちーしゃ おうしゆこー いっしんあんらくぎよう むーりようしゆしよきよう  
 第三法如是智者應守護一心安樂行無量衆所敬

うーもんじゆしーりー ぼーさつまーかーさつ おーごーまつせー ほうよくめつじー うーじゆじーほつけーきようしや  
 又文殊師利。菩薩摩訶薩。於後末世。法欲滅時。有受持法華經者。於  
 ざいけーしゆつけーにんちゆう しょうだいじーしん おーひーぼーさつにんちゆう しょうだいひーしん おうさーぜーねん  
 在家出家人中。生大慈心。於非菩薩人中。生大悲心。應作是念。  
 によぜーしーにん そくいーだいしつ によらいほうべん ずいぎーせつぼう ふーもんふーちーふーかく ふーもんふーしんふーげー  
 如是之人。則為大失。如來方便。隨宣說法。不聞不知不覺。不問不信不解。  
 ごーにんすいふーもん ふーしんふーげーぜーきよう がーとくあーのくたーらーさんみやくさんぼーだいじー ずいざいがーじー  
 其人雖不問。不信不解是經。我得阿耨多羅三藐三菩提時。隨在何地。  
 いーじんつうりき ちーえーりき いんしーりよつとく じゆつぜーほうちゆう もんじゆしーりー ぜーぼーさつまーかーさつ  
 以神通力。智慧力。引之令得。住是法中。文殊師利。是菩薩摩訶薩。

おーによらいめつこー うーじょうじゆ しーだいしーほうしや せつぜーほうじー むーうーかーしつ じょういー(びく)(びく)  
 於如來滅後。有成就。此第四法者。說是法時。無有過失。常為比丘比丘  
 にー うーばーそくうーばーいー こくおうおうじー だいじんにんみん (ばら)もんこーじーとう くーようくーぎょう  
 尼。優婆塞優婆夷。國王王子。大臣人民。婆羅門居士等。供養恭敬。  
 そんじゅうさんだん こーくうしよてん いーちほうほうこー やくじょうずいじー にやくさいじゆらくくじょうおう  
 尊重讚歎。虛空諸天。為聽法故。亦常隨侍。若在聚落城邑。空閑林  
 ちゆう うーにんらい よくなんもんしや しょうてんちゆうやー じょういーほうこー にーえーこーしー のうりょううちょうしや  
 中。有人來。欲難問者。諸天晝夜。常為法故。而衛護之。能令聽者。  
 かいとツかんぎー しょうしやがー しーきょうぜーいっさい かーこーみーらいげんざい しょうじんりき しょうこーこー  
 皆得歡喜。所以者何。此經是一切。過去未來現在。諸佛神力。所護故。  
 もんじゆしーりー ぜーぼつけーきょう おーむりょうこくちゆう ないしーみょうじー ふーかーとくもん がーきょうとツけん  
 文殊師利。是法華經。於無量國中。乃至名字。不可得聞。何況得見。  
 じゆじーどくじゆ もんじゆしーりー ひーにょうりうりき てんりんじょうおう よくいーいーせー じうぶくしよこく にー  
 受持讀誦。文殊師利。譬如強力。轉輪聖王。欲以威勢。降伏諸國。而  
 しょうじょうおう ふーじゆんこーみょう じてんりんろう きーしゆじゆひょう にーおうとうほう おうけんひょうじゆ  
 諸小王。不順其命。時轉輪王。起種種兵。而往討伐。王見兵衆。  
 せんヌーくーしや そくだいかんぎー ずいくーししょうしー わくよーでんたく じゆらくくじょうおう わくよーえーぶく  
 戰有功者。即大歡喜。隨功賞賜。或與田宅。聚落城邑。或與衣服。  
 こんしんしーぐー わくよーしゆじゆちんほう こんこんるーりー しゃこーめーのう さんこーこーはく ぞうめーしやじょう  
 嚴身之具。或與種種珍寶。金銀瑠璃。硨磲碼碯。珊瑚琥珀。象馬車乘。

ぬーびーにんみん 唯髻中明珠。不以與之。所以者何。獨王頂上。有此一珠。

若以與之。王諸眷屬。必大驚怪。文殊師利。如來。亦復如是。以禪

定智慧力。得法國土。王於三界。而諸魔王。不肯順伏。如來賢聖諸將。

與之共戰。其有功者。心亦歡喜。於四衆中。為說諸經。令其心悅。

賜以禪定。解脫。無漏根力。諸法之財。又復賜與。涅槃之城。言得滅度。

引導其心。令皆歡喜。而不為說。是法華經。文殊師利。如轉輪王。

見諸兵衆。有大功者。心甚歡喜。以此難信之珠。久在髻中。不妄與人。

而今與之。如來亦復如是。於三界中。為大法王。以法教化。一切衆生。

見賢聖軍。與五陰魔。煩惱魔。死魔共戰。有大功勳。滅三毒。出三界。

破魔網。爾時如來。亦大歡喜。此法華經。能令衆生。至一切智。一切世

間。多怨難信。先所未說。而今說之。文殊師利。此法華經。是諸如來。  
 第一之說。於諸說中。最為甚深。末後賜與。如彼強力之王。久護明珠。  
 今乃與之。文殊師利。此法華經。諸佛如來。祕密之藏。於諸經中。  
 最在其上。長夜守護。不妄宣說。始於今日。乃與汝等。而敷演之。  
 爾時世尊。欲重宣此義。而說偈言

常行忍辱哀愍一切乃能演說佛所讚經  
 後末世時持此經者於家出家及非菩薩  
 應生慈悲斯等不聞不信是經則為大失  
 我得佛道以諸方便為說此法令住其中  
 譬如強力轉輪之王兵戰有功賞賜諸物

象馬車乘 嚴身之具 及諸田宅 聚落城邑  
或與衣服 種種珍寶 奴婢財物 歡喜賜與  
如有勇健 能爲難事 王解髻中 明珠賜之  
如來亦爾 爲諸法王 忍辱大力 智慧法藏  
以大慈悲 如法化世 見一切人 受諸苦惱  
欲求解脫 與諸魔戰 爲是衆生 說種種法  
以大方便 說此諸經 既知衆生 得其力已  
末後乃爲 說是法華 如王解髻 明珠與之  
此經爲尊 衆經中上 我常守護 不妄開示  
今正是時 爲汝等說 我滅度後 求佛道者

よくとくあんノん 欲得安穩 演説ス經 應當親近 如是四法  
どくぜいきようしゃ 讀是經者 常無憂惱 又無病痛 顔色鮮白  
ふーしやうびんぐう 不生貧窮 卑賤醜陋 衆生樂見 如慕賢聖  
てんしよどうじー 天諸童子 以爲給使 刀杖不加 毒不能害  
にやくにんおーめー 若人惡罵 口則閉塞 遊行無畏 如師子王  
ちーえーこうみよう 智慧光明 如日之照 若於夢中 但見妙事  
けんしよにらゐー 見諸如來 坐師子座 諸比丘衆 圍繞說法  
うーけんりゆうじん 又見龍神 阿脩羅等 數如恆沙 恭敬合掌  
じーけんごーしん 自見其身 而爲說法 又見諸佛 身相金色  
ほうむりようこう 放無量光 照於一切 以梵音聲 演説諸法

ぶツチーしーしゅ せつむーじょうほう けんしんしよちゆう がツしよさんぶつ  
佛爲四衆 說無上法 見身處中 合掌讚佛

もんぼう かんぎー にーいーくーよう とく(たら) にー しよふーたいちー  
聞法歡喜 而爲供養 得陀羅尼 證不退智

ぶツチーごーしん じんにゆうぶつどう そくいーじゆきー じようさいしようがく  
佛知其心 深入佛道 卽爲授記 成最正覺

によぜんなんしー とうおーらいせー とくむーりようちー ぶツしーだいどう  
汝善男子 當於來世 得無量智 佛之大道

こくどーこんじよう こうだいむーびー やくうーしーしゆ がツしようちようぼう  
國土嚴淨 廣大無比 亦有四衆 合掌聽法

うーけんじーしん さいせんりんちゆう しゆじゆうぜんぼう しようしよじツそ  
又見自身 在山林中 修習善法 證諸實相

じんにゆうぜんじようけんじツ ぼうぶつ  
深入禪定 見十方佛

しよぶツしんこんじき ひやツぶくそうしようこん もんぼういーにんせつ じよううーぜーこうむー  
諸佛身金色 百福相莊嚴 聞法爲人說 常有是好夢

うーむーさーこくおう しゃくうでんけんぞく ぎゆうじようみようてーよく ぎようけいおーどうじよ  
又夢作國王 捨宮殿眷屬 及上妙五欲 行詣於道場

びいぼーだいじゆげー にーしよしーしーぎー ぐーどう かーしち にち とくしよぶツしーち  
在菩提樹下 而處師子座 求道過七日 得諸佛之智



成無上道已じょうむじょうどうい起而轉法輪きいてんぼうりん爲四衆說法いししゅせつぽう經千萬億劫きょうせんまんごつこつ  
說無漏妙法せつむろみょうほう度無量衆生どむりょうしゅじょう後當入涅槃ごとうにゅうねいはん如煙盡燈滅にょえんじんとうめつ  
若後惡世中にやくごあくせちゅう說是第一法せつぜだいいっぽう是人得大利ぜにんとくだいり如上諸功德にょじょうしよくどく